



【国際交流委員会】

留学生との出会いと旅立ち

《9月以降の活動報告》

*9月29日(月)の放課後、夏休み明けから夕陽丘高校へやって来た、3名の留学生(カナダ、オーストリア、中国)の歓迎会を行いました。新たな留学生を迎えたことで、アジア、欧米出身の複数名の留学生とともに勉強できる環境になりました。夕陽生も留学生から良い刺激を受けており、お互いに切磋琢磨しながら成長しています。



《今後の活動予定》

4月から一緒に勉強している、2年3組のエイミー(ニュージーランド)が1月15日(木)に帰国することになりました。1年1組のトゥーギ(モンゴル)も2月上旬に帰国する予定ですので、2人のお別れ会を兼ねた「学習発表会」を1月13日(火)に実施することになりました。クラスメイトはもちろん、多くのみなさんに参加してもらい、賑やかな会にしたいと思います。誰でも参加できますので、ぜひ学夕会館へ!

留学生「学習発表会」

日時:1月13日(火) 午後4時から

場所:学夕会館

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

テレビ会議報告

平成 17 年から継続して、ハワイのプナホウ高校日本語学科と本校音楽科 2 年生との間で行ってきたインターネットテレビ回線による交流は今年で 9 年目を迎えた。



11 月 14 日、25 日と 2 回のテレビ会議を行った。初期の頃はハードウェア環境が不十分で、通信ソフトウェアも発展途上だったため、会議途中で通信が途絶したり、音声通信はできているが、映像が送られてこないといったトラブルに悩まされたが、昨今はそのようなこともなくなり、快適にハワイとのテレビ電話が楽しめている。



交流を通じて、ハワイと日本の習慣の違いに驚いたり、アメリカと日本の流行の違いを話し合ったりして相互理解を深めている。交流の目標は日本語学科卒業式のオリジナルソングを共同制作することである。まずハワイの生徒が日本語で卒業式の歌の歌詞を作る。本校生徒が助言添削し、できあがった歌詞に本校生徒が曲をつける。5 曲作られるがハワイの生徒がもっとも気に入ったものを、音楽科 2 年生全員で合唱する。伴奏は琴と三味線である。演奏の映像にひらがな字幕をつけた映像がハワイに送られ、その映像をバックに卒業式の歌が歌われるという趣向である。最終回は 12

月 17 日でこの記事が読まれる頃には終わっていることになる。

第 1 回目 (11 月 14 日)

5 グループに分かれての交流。簡単な自己紹介から始まる。ハワイの生徒は日本について学習するので、日本の IT 事情についての質問が出る。携帯電話やスマートフォンの紹介をしたりする。

第 2 回目 (11 月 25 日)

今回も 5 グループでの交流。掲示板にアップされた日本語の歌詞を土台に、グループごとに作曲の構想を話し合う。ところが 5 班だけ歌詞データが届いていない。通信を開始した後掲示板にアップしてもらい、無事相談が始まる。日本語のおかしいところや冗漫な歌詞を指摘し歌詞が進んだ。

第 3 回目 (2 月 17 日)

最後は全グループが合同。ビオーラホールで、大画面をみながらのテレビ会議を予定している。

【第三学年】より

夕陽丘高校生として悔いなく誠実に！

学年主任 諸正 邦彦

明日（25日）から冬休みに入ります。3年生にとっては最後の冬休みを迎えることになりました。指定校推薦や公募推薦で合格を手にした以外の3年生にとっては、進路実現に向け最後の追い込みの時期！正月返上で頑張って貰いたいと願っています。一方、合格し進路実現した人は手を抜かずについて欲しいと思います。

振り返れば、平成24年4月の入学式から、宿泊研修、体育祭、文化祭、合唱コンクール、英語スピーチコンテスト、英語暗唱大会、京都での耐寒訓練（四条祇園～哲学の道～出町柳）、ルミナス神戸でのクルージングと神戸散策、グアム修学旅行、淡路島での校外学習、進路体験活動、人権学習講演など様々な体験学習活動をしてきました。このような活動は上級学校では、もう経験することは出来ません。長い人生の中でもこのような活動は小学校、中学校、高等学校の三段階の教育場面でしか味わうことの出来ないものです。いよいよ高等学校修了の時期、67期のみなさんほどのような思いをめぐらすことが出来るでしょうか。67期生として登校するのもあと18日！2月28日（土）の卒業式を最後にもう高校生には戻れないし、夕陽丘高校の標準服を着ることもなくなります。人生は後戻りの出来ない一方通行です。であるが故にその時々において、悔いのない生き方が一人一人に求められています。人と人に出会いに「一期一会」の言葉があるように私たちは後戻りの出来ない時間の流れに生きています。という事は時間の流れの中で生きるということも「一期一会」であると言えると思います。私たちは「一期一会」の時間の中で生かされています。この生かされている時間に感謝し、この時間を悔いの無いよう精一杯生きること、誠実に真摯に生きること、このことが大切なことでは無いでしょうか。長い人生の中でも最も密度の濃いこの3年間の締めくくり、夕陽丘高校67期生として18日間を如何に過ごすか。67期生一人一人に問われていると思います。

一日一日が悔いのない充実した日々の積み重ねの18日間であるよう願っています。

【第二学年】より

修学旅行を終えて

学年主任 井上 恭

10月28日火曜日午前8時半、関西国際空港北広場に大きな遅刻者もなく300名余りが集合し、68期生の台湾修学旅行は始まりました。私自身海外修学旅行は初めてでしたので、正直なところ少し不安を持っての出発でした。

台湾到着初日に訪れた中正紀念堂では、生徒たちは楽しそうにあらこちらで記念写真を撮っていました。次の龍山寺では、お参りの人が多くて見学しにくかったのですが、現地のガイドさんの説明を熱心に聞いていました。中にはおみくじを買った積極的な生徒もいました。台北101では、展望階から見える夜景のきれいさに見とれている生徒がたくさんいました。2日目の学校交流は、相手校の桃園高級中学の熱烈な歓迎に始まり、歓迎セレモニーも順調で、両校のパフォーマンスも成功裏に終わりました。桃園の生徒との周辺の散策では、同世代ということもあってすぐにお互いに打ち解けて、コミュニケーションをとりながらの散策を楽しんでいました。帰る際には、名残が惜しいのか皆なかなかバスに乗らず、連絡先を交換したり写真をとったりしていました。旅行後のアンケートでも桃園の生徒との散策について「満足した」と回答した生徒が80%もいましたし、修学旅行全体についても「満足した」と回答した生徒が



中正紀念堂



桃園の生徒との散策（桃園市内）

82%もいて、私としてはホッと一安心というところです。

ところで、中正紀念堂の敷地の広大さ、紀念堂と蔣介石像の巨大さには本当に驚きました。龍山寺では、祭られている仏教や道教の神様に向かって、長時間にわたり一心にお経を読む人々の姿が印象的でした。また、毎日の食事は、中華料理でなじみがあるとはいえ、味付けや香辛料は何となく日本で食べるものとは違っていました。日本と台湾とでは歴史や宗教、文化に相違があり、歴史的な施設や人々の暮らしの様子が違っているのは当然ですが、飛行機で3時間の隣国であってもこのようにいろいろな面で違いがあります。この違いを認め合い、お互いを理解し合うことが海外の人たちとつきあうためには必要だといわれます。なんだか難しそうで自分にできるかなと思うかもしれませんが、生徒の皆さんはすでに実践していたのです。桃園の生徒との散策のとき、お互いに様々な違いがあつて本当に付き合いにくいと感じたでしょうか。付き合いやすいとか付き合いにくいとかいうことよりも、まずお互いにわかりあいたいと思い、好意を持ってコミュニケーションをとったのではないのでしょうか。片言の英語でも通じ合えたと思います。これが理解しあうことの第一歩であることは間違いありません。そのことを感じとってもらえれば修学旅行は成功であつたといえると思います。



桃園の生徒との散策（三峡）

終わってみれば、盛りだくさんでかなり忙しい修学旅行であつたことと思います。何年かすればその大部分は忘れてしまうのかもしれませんが、しかしながら、言語や歴史、宗教、文化は違つても、お互いに好意を持ってコミュニケーションをとれば、理解し合える、あるいは、理解し合う一歩となるということだけは忘れずに覚えていてほしいと思います。そして、グローバル化の時代を迎え、話す言葉の異なる相手とのコミュニケーションの道具の1つとして英語はなくてはならないものとなっています。桃園の生徒との会話の際に、自分の言いたいことを十分表現できなくて悔しい思いをした生徒も多いのではないのでしょうか。これをきっかけに英語の勉強に力を入れてみてはいかがでしょうか。

【第一学年】より

進路の種

学年主任 草間 義彦

「今を輝く69期」この学年スローガンのもと、夕陽丘高校69期生はスタートし、8か月が過ぎ、いよいよ1年生も終りに近づきました。

この1年を振り返り、授業など日々の高校生活や文化祭、合唱コンクールなどの学校行事、どんな思いで取り組むことができたでしょうか。輝く時を過ごせたでしょうか。より輝くためには、何となくではなく、しっかりとした目標をもち取り組むことが大切です。成し遂げるための思いが強ければ強いほど、高い成果が得られます。今後も、目標をしっかりと設定し、成し遂げる強い思いを持ち、さらに輝きを増そう。

11月の佛教大学の原先生の講演の時、進路目標について質問をされました。その時、“はっきり決まっている（約2割）”“だいたい決まっている（約6割）”“決まっていない（約2割）”という割合でした。ある程度、方向性を考えている人が8割。この数字は、この時期にしては、高い数字だと思います。どこへ向かうのかが、早く決まっていれば、じっくりと時間をかけ余裕を持って準備することができます。

作物は種を蒔く時期が重要です。蒔く時期を間違えれば成長が遅れるだけでなく、時には実らぬこともあります。君達が、「進路」という花を咲かせるのは2年後です。この種は、できるだけ早く蒔き、しっかりと水や肥料を与える事が大きな花を咲かせるコツです。

しかし、これから目標が変わることもあると思います。たとえ、進む方向が変わつても、それまで身につけた力は、そのまま生かせるはずで、まずは動き出すことが大事なのです。

さあ、冬休みを終えれば、2ヶ月で1年生最後の考査を迎えます。1年間の総仕上げと考え、しっかりと、取組んでください。そうすることによって、2年生も良いスタートが切れるはずですよ。

【保健部】

ストレスフルな現代社会を生きるために（その3）

今回で、ストレスに焦点をあてたシリーズの3回目になります。

前回では、ストレスの対処法を5つにまとめました。ストレスへの耐性を強めるためには身体（体調を整える）と心（不健全な認知を改善する）と書きました。

今回は、最近の精神療法にもとり上げられることが多い「認知行動療法」の基本である「認知の歪み」（不健全な認知）について書いておきます。ストレスが高じると誰もが不健全な認知に陥りやすいものです。日頃から、自分自身の認知のパターンに気付いておくことで、「健康な心」に少しでも早く軌道修正したいものです。

以下、認知の歪みの10パターンについて説明しておきます。①「全か無か」極端な“完璧主義”の思考パターン。事実は中間にあるものが殆どです。②「過度の一般化」1度や2度起こっただけの失敗・悪い出来事を、常に当然のごとく起きるコトだと思いこむ思考パターン。“いつも”とか“すべて”とか“絶対”というような意味のコトバを含む場合が多い。③「心のフィルター」『今までの人生の中で、いい思い出なんて一つも無い』生きていれば良いことも悪いこともある。しかし“心のフィルター”は良いことを全て遮断してしまい、悪いことばかりを思い出させしまう。④「マイナス化思考」良いことを良いと考えられなくなったり、良いことを悪いことに置き換えてしまう。たとえば、テストでいい点をとっても『今回は、偶然にいい点だったただけだ』と喜ばない。⑤「結論への飛躍」正当な根拠もなしに悲観的な結論に飛躍してしまう。“心の読みすぎ”と“先読みの誤り”がある。“心の読みすぎ”人の断片的な行動や発言で、その人がどう思っているかを決めつけてしまい、それが本当か確かめようとしないうこと。“先読みの誤り”『わたしは一生不幸だ』と、だれにもわかるはずがない将来を決めつけてしまうこと。⑥「過大評価、過小評価」自分の失敗や悪いところを必要以上に大きく考えたり、自分の成功や良いところを極端に小さく考える。⑦「感情的決めつけ」自分の感情が現実を正確に反映して、事実を証明する証拠であるかのように考えてしまう。『不安を感じている』だから失敗するにちがいない。⑧「すべき思考」『教師なんだからもっと大人らしい行動をするべきだ』というような自分で考えた基準が当然であるとする思考パターン。「～すべき」「～でなくてはならない」というようなフレーズが特徴。⑨「レッテル貼り」人や物事の多様性を無視して、単純なパターンの枠ぐみ（イメージ）でとらえてしまうこと。よくあるのは、間違っただけで完全に悲観的な自己イメージを創作してしまうこと。『私は何をやらしても失敗ばかりだ』⑩「個人化」モノゴトの責任(原因)の所在が、責任のない自分にあると考えたり、必要以上に自分に責任があると考える思考パターン。『昨日の試合に負けたのはみんなには責任がない、わたしが全部悪いんだ』

認知の歪みの10パターンは、思考の偏りに気づくための道具（セルフモニタリング）です。自分のこころの問題を解決するとき、自分の認知のどこが悪いのかを知るのはとても大切です。認知の歪みのパターンを知ること、自分の認知がどこが歪む傾向にあるか気づくことが簡単になるということです。

【音楽科より】

◆音楽科設立20周年記念演奏会◆7月26日(土)

今年の音楽科は音楽科設立20年目ということで幕開けしました。7月には演奏家として活躍されている卒業生をお招きして音楽科設立20周年記念演奏会をいずみホールにて行いました。開演と同時に現役生徒による校歌がホールいっぱいに響き渡りました。ロビーには音楽科設立以来の歩みをパネル展示し、これまで支えてくださった方々や卒業生などと共に素晴らしいひと時を楽しむことができました。これまでの歩みを振り返り、20年間で培われた人とのご縁や想いを大切にこれからも発展していきたいと思えます。



◆定期演奏会◆9月21日(日)

9月には現役生徒による第18回音楽科定期演奏会をNHK大阪ホールで行いました。2年生による等と三絃による和楽器演奏、3年生による独唱、独奏、アンサンブル、3学年合同での合唱、管弦楽を演奏しました。

演奏会の最後を飾る全員によるオーケストラと合唱の合同演奏では、永遠の名作である《ウエスト・サイド・ストーリー》の映画音楽より、《マリア〜アメリカ〜クール〜マンボ〜アイ・フィール・プリティ〜トゥナイト》のメドレーを演奏しました。アメリカやトゥナイトなど、高校の音楽の教科書に載っている曲やマンボ!など会場にお越し下さったお客様にとっても耳馴染みがあり、客席と演奏者が一体となるような演奏会となりました。何より会場一杯にお越しいただいたお客様からの声援が今後の生徒たちの励みとなりました。



◆これまでの活動◆

6月7日(土)・9月5,6日(金,土)

第156回・157回ピッコロコンチェルティスタ

6月21日(土)大阪府合唱祭に参加

9月27日(土),10月11日(土)小学生対象企画〜あなたもピアニスト〜



特別公開講座《卒業生を迎えて 坂東達也氏》

11月2日(日)第5ブロック音楽会

11月9日(日)Viola Ancora

12月13日(土)大阪警察病院ロビーコンサートに出演

12月26日(金)大阪府教育センターフォーラム
ランチタイムコンサートに出演

◆特別公開講座◆

4月21日(月)カルテット・エクセルシオ《室内楽の愉しみ〜弦楽四重奏〜》

6月19日(木)菊本和昭氏 《トランペットの魅力伝えます!》

7月23日(水)ベニヤミン・コロボフ氏《ピアノ演奏とレッスン》

11月14日(金)坂東達也氏《卒業生に学ぶ〜大学・大学院で学んでいること》

12月17日(水)仲道郁代氏《ピアノ演奏とレッスン》

12月19日(金)ミハヤエル・ファウスト氏《フルート演奏とレッスン》



これからの活動

1月31日(土) 第158回ピッコロコンチェルティスタ

2月7日(土) 音楽科3年生演奏会

3月10日(火) ウィーン音楽研修旅行 壮行会

3月23日(月)〜3月31日(火) 第9回ウィーン音楽研修旅行

ウィーンで演奏するプログラムと
同じ演目を
ヴィオラホールで演奏します。
ぜひ聴きにいらしてください!!



【進路指導部】

2014年

推薦入試等合格者数中間集計

大学	合格者数
大阪教育大学	2
大阪府立大学	1
立命館大学	2(2)
同志社大学	2(2)
関西学院大学	4(4)
関西大学	12(12)
京都女子大学	4(5)
龍谷大学	3(3)
近畿大学	18(43)
同志社女子大学	16(24)
武庫川女子大学	3(3)
京都外国語大学	1(2)
関西外国語大学	10(14)
畿央大学	10(18)
大阪音楽大学	3(3)
大阪樟蔭女子大学	1(1)
大阪経済大学	0(1)
大阪工業大学	0(0)
摂南大学	1(9)
大阪商業大学	1(1)
大阪総合保育大学	1(1)
大阪芸術大学	7(7)
奈良大学	1(1)
京都産業大学	1(1)
甲南大学	1(1)
甲南女子大学	2(2)
四天王寺大学	1(1)
神戸女学院大学	1(1)
相愛大学	1(1)
梅花女子大学	1(1)

昨年度
1
0
2(2)
2(2)
7(7)
9(9)
3(4)
5(10)
19(47)
9(11)
5(12)
6(7)
3(8)
7(8)
1(1)
1(2)
2(2)
2(3)
3(5)
1(1)
1(1)
1(1)
1(1)
1(1)
1(1)
1(1)
1(1)
1(1)
1(1)
1(1)
1(1)

短大	合格者数
大阪キリスト教短大	1
常磐会短大	3
大阪城南女子短期大学	1
大阪信愛女学院短期大学	1
大阪女子短期大学	1
関西女子短期大学	1
芦屋学園短期大学	1
大手前短期大学	1
大阪音楽大学短期大学部	1

専門学校等	合格者数
ECCアーティスト専門学校	1
大阪コミュニケーションアート専門学校	1
大阪ECO動物海洋専門学校	1
キャットミュージックカレッジ専門学校	2
日本歯科学院専門学校	1
大阪文化服装学院	1
大阪医療センター附属看護学校	1

*各学校別の合格者数は現役の実合格者数
()内は延べ合格者数(含浪人)判明分のみ

四大現役 実合格者数 104

昨年 106

- ・四大 短大 専門学校の公募制推薦の合格者数 今年 146 昨年 125
- ・延べ受験者数 近大、現役 172 浪人 23 昨年 現役 126 浪人 25
龍谷 現役 20 浪人 2 昨年 現役 25 浪人 3
- ・延べ合格者数 近大 現役 38(4) 浪人 0 昨年 34(2) 浪人 11
()は指定校 龍谷 現役 3(1) 浪人 0 昨年現役 10 浪人 0
- ・合格率(現役実数)
*指定校除く 近大 14/49 29% 昨年度 17/46 37%
龍谷大 2/8 25% 昨年度 5/7 71%

【今後の予定】

☆ 1月

冬期講習（12／25～27、1／5～7）

1, 2年実力考査、3年授業開始	8日（木）
1, 2年進研模試	17日（土）
センター試験	17日（土）、18日（日）
3年期末試験	27日（火）～30日（金）
ピッコロコンチェルティスタ	31日（土）

☆ 2月

耐寒行事（1年）	6日（金）
音楽科3年演奏会	7日（土）
前期入試による登校禁止日	15（日）、22（日）、23（月）～25（水）
後期期末考査	26（木）～3／4（水）
卒業式	28（土）

☆ 3月

1, 2年テスト返却	9（月）
後期入試による登校禁止日	15（日）～18（水）
終業式	20（金）